

小城市立 小中一貫校 芦刈観瀾校 学校だより 36 【1月号①】

ともに



平成30年1月9日発行 《文責》 校長:濱崎 豊治 副校長:北村征一郎

謹んで新年の御挨拶を申し上げます

3学期も御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします

保護者の皆様、地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年も温かい御支援を賜り、ありがとうございました。本年も観瀾校の児童生徒の健やかな成長、笑顔のために、小中一貫校として職員一同、力を合わせて努力してまいりたいと思います。皆様と「共に学び、共に考え、共に創る」2018年にしていきたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



「しめ縄づくり体験(芦刈公民館行事)」に、多くの児童が参加しました



よさを確かめ、可能性を見出し、ジャンプする3学期に

1学期のホップ、2学期のステップから、いよいよ「ジャンプする3学期」がスタートしました。3学期は、1年間の総仕上げとして、次年度の進級・進学に備えて自分のよさを確かめ、可能性を見出し、さらなる飛躍につなげる大切な学期です。3学期は、児童生徒一人一人がこの1年間で何をどのように努力し、どう成長したか、次の学年に期待することは何かを具体的に洗い出し、希望や目標を高く持って新たな年度に向かう

よう導いていきたいと思っています。特に9年生にとっては、いよいよ進学へのカウントダウンがはじまりました。自分の進路の実現に向けて、一人一人がよき準備を整え、しっかりとがんばってほしいと願っています。

学習指導では、1年間の復習を行い、基礎的・基本的な知識や技能等を確実に習得させるよう努めます。また、研究テーマである『主体的・対話的で深い学びを実現し、生きる力を育む小中一貫教育～「書く活動」を効果的に取り入れた授業づくりを通して～』について、成果や課題等を検証し次年度につなげます。

生徒指導では、感謝の気持ちを高め、御世話になったことや自分が周りのために尽くしたこと、友達や学校、地域、家庭のよさ等を互いに認め合う機会を持つようにします。

そして、正しい考えや判断、正しい言動のよさについて確認し、次年度に生かしていきたいと思っています。各学年や学級においては、この1年間の出来事を振り返り、みんなで力を合わせて成し遂げたことや乗り越えたこと、集団として成長したこと等を確認し、教師も児童生徒も「ともに」成長を喜び合える3学期にしたいと思っています。

御家庭におかれましても、この1年間の努力や工夫、成長等を話し合い、次年度にどのようにつなげていくのかを確認する3学期にいただければ幸いです。



9年生で「テーブルマナー給食」



2学期の最終日前日に実施し、基本的な作法・マナーの指導を行いました。また、卒業に向けてのよき思い出づくりとなり、みんなとても楽しく、そして、おいしくいただいた笑顔の会食会でした。



「赤い羽根共同募金」協力の御礼に御来校いただきました

2学期に観瀾校では、児童会と生徒会主催で赤い羽根の募金活動に協力しました。集まった善意の金額は、4,625円で「大切にさせていただきます。ありがとうございました。」と丁寧に御礼に来ていただきました。

